

# 令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

## 事業実施報告書

- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

道府県・政令市名【 北九州市 】

学校名【 北九州市立花尾中学校 】

1 実践テーマ	I・II・III・IV・V (複数選択可)
2 実施対象者 (学年・人数)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3学年・3クラス・119名</li> <li>・第2学年・3クラス・124名</li> <li>・第1学年・4クラス・129名</li> </ul>
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 教科名 ( 総合的な学習の時間 )</li> <li>② 行事名 ( )</li> <li>③ その他 ( )</li> </ul> <p>(2) 地域における活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① イベント名 ( )</li> <li>② その他 ( )</li> </ul>
4 目標 (ねらい)	<p>○リオパラリンピック車椅子テニス日本代表二條実穂氏の話を知ったり、競技用車椅子の使用体験をしたりすることにより、東京2020大会に向けた機運醸成を図る。</p> <p>○ボッチャを体験することで、共生社会について考え、人権意識を高め、障害の有無に関係なく誰もが気持ちよくスポーツを楽しむ心を養う。</p>
5 取組内容	<p>〈二條選手との交流〉【1 学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○二條実穂氏による講話</li> <li>○競技用車いす体験会             <ul style="list-style-type: none"> <li>・競技用車いすクラス対抗リレー（生徒全員参加）</li> <li>・競技用車いすテニス体験（代表生徒・教職員）</li> </ul> </li> <li>○二條実穂氏への質問タイム</li> </ul>





〈ボッチャ事前学習〉【全学年】

(1) オリンピック・パラリンピックの歴史を知ろう。

- ・オリンピック・パラリンピックの動画や資料を活用して、教師が解説した。

(2) 「ボッチャ」について調べよう。

- ・タブレットを使って、ボッチャについて調べた。

〈ボッチャ体験学習〉

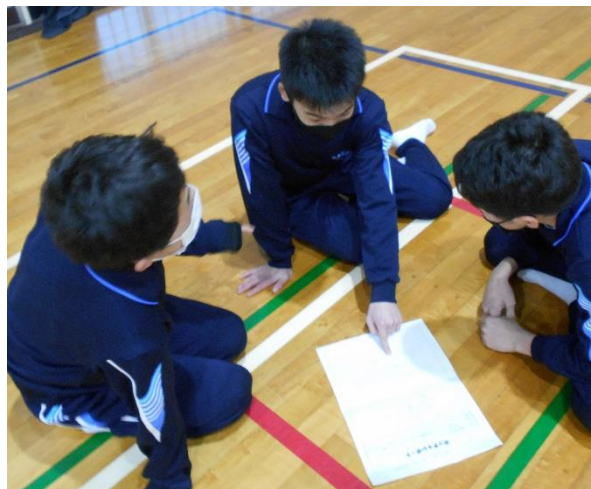
(1) 「ボッチャ」を体験してみよう。

- ・調べたルールで実際にボッチャを体験した。



(2) 「ボッチャ」から学んだことを伝え合おう。

- ・ボッチャを通して、感じたことをグループで伝え合った。



〈ボッチャ事後学習〉

- ・ボッチャ体験から、障がい者スポーツ、共生社会について考え、意見交流をした。

- ・学んだことを生かして、今後、自分にできることを考えた。

<p>6 主な成果</p>	<p>○二條実穂氏の生き様や絶対にあきらめない精神力、リオパラリンピックの様子など大変わかりやすい講話であったため、生徒は、障害をもった選手への尊敬の念を持ち、その心情の強さを感じ、人の生き方について考え、生徒自身の目標へとつなげることができた。また、車いすを使う立場になって考え、障害をもった方たちと共生する豊かな社会をつくろうとする心情を養うことができた。</p> <p>○トップアスリートである二條実穂氏の話により、生徒は東京オリンピック・パラリンピックへの期待や意識を高めることができた。</p> <p>○オリンピック・パラリンピックへの理解や関心を高め、スポーツの楽しさや努力することの大切さを学ぶことができた。自分の得意な競技だけではなく、日頃の健康や体力の増進を振り返る機会となった。</p> <p>○「ボッチャ」について調べ、体験することを通して、誰もが気持ちよく楽しめるスポーツのよさに気づき、自分自身もスポーツを楽しもうとする心情を養うことができた。</p>
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>○競技用車いすを借用、ボッチャは所有及び購入したものがあつたため、参加生徒全員に体験させることができた。</p> <p>○講演会での講師を招聘するにあたって、近隣校と連携して計画を立てたことにより、経費を抑えることができた。</p>
<p>8 主な課題等</p>	<p>○二條実穂氏は、以前から北九州市と交流が深いため、今後も、可能な限り北九州市内の小中学校に訪問して、講演会や車いす体験学習を子どもたちと行いたいと切望されているが、他の講師を招聘する際、その連絡手段や窓口など。</p> <p>○他の競技を体験させる際の道具の準備等。</p>
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<p>○今年度も様々な制限がある中ではあつたが、講演会及び体験とある程度計画通り実施できた。オリ・パラ東京大会が終わった来年度も、可能な限り体験型の講演会等を実施し、オリンピック・パラリンピックへの関心を高めるとともに、インクルーシブな社会の構築、スポーツを楽しむ心の醸成を図っていきたい。</p>